

元気いっぱい !!



日本赤十字社医療センター附属乳児院
Home for Infants, Japanese Red Cross Medical Center



〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号

TEL 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/relation/tabid/385/Default.aspx>

理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。

私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、親子関係の構築を支援します。



新しい年の幕開け



事務長 富田 淳

新年あけましておめでとうございます。

令和3年の幕が開きました。

ご承知の通り、昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大で明るい話題を見つけるのには難しい年となりました。その様な中、当院でも入所児の安全と安心した暮らし、職員の健康第一と考える1年となりました。

振り返ってみると状況が厳しくなる前の1月は、乗り物・買い物体験や誕生日のお祝い行事が出来ました。お出かけする時の子どもたちの嬉しそうな「笑顔」にずいぶんと元気をもらいました。2月の節分には、豆まきの鬼役をやらせてもらいました。大泣きする子や立ち向かってくる子、保育者の後ろに隠れながら遠目に覗き込む子などなど、それぞれの個性を見ることが出来た貴重な体験でした。ただ、役どころとはいえ随分と子どもたちに大泣きされましたので、しばらくの間凹んでしまいました。外出制限の中、夏場はベランダで大声ではしゃぎ、気持ち良さそうに水遊びを楽しむ子どもたちの姿に「ほっ」とさせられました。10月のハロウィンのお菓子の掴み取りでは、真剣な眼差しでお菓子を選ぶ子どもたちの姿に「子どもらしさ」を感じました。少し肌寒くなった秋には、お散歩に出るため玄関に座り込んで自分で一生懸命靴を履き、1人で履けたことを保育者に褒めてもらうと得意そうな表情をする子どもの姿に「ほっこり」させられました。そして先月、子どもたちには待ちに待ったクリスマス。玄関ロビーに飾られたクリスマスツリーの飾りを見て「綺麗だねえ～」の歓声！その声に癒されながら仕事を乗り切りました。普段子どもと接する機会の少ない私は、この様な子どもたちの何でもない仕草や行動、発せられる一言ひとことに支えられ、元気と笑顔をもらいました。



さて、本年、令和3年はどのような年になるのでしょうか？

まずは、新型コロナウイルスの感染拡大が終息し、普段の日常が戻り、昨年の分も取り返すべく、子どもたちが「のびのび」「元気に」青空のもと走りまわり、「もりもり」とご飯を食べ、「大声で」笑って泣いて、「健やかに」成長できる年になることを願っています。

ミニ運動会



保育士 藤村

10月20日に乳児部のミニ運動会を行いました。今年は例年通りとはいかず、午前と午後に分かれて各部屋毎に競技をすることになりました。競技は玉入れ、山登り競技の2つです。競技に参加する子どもたちは体操服に着替えて気合十分！練習以上の力を発揮していた子、本番は緊張してなかなか前に進めない子など反応は様々でしたが、皆んな全力で頑張りました！月齢が低い子どもたちは運動会の装飾の前で写真を撮り、応援団として参加しました。



そして、運動会といえば、お弁当！完了食を食べている子どもたちは、皆んなもぐもぐと頬張って美味しく食べていました。

今年は保護者の方に観に来て頂くことが出来ず残念でしたが、コロナ対策をしっかり行い、「ミニ」という形でも、開催することができて嬉しく思います。



ハロウィン



保育士 漆館

10月30日、31日に幼児部でハロウィンを行いました。子どもたちは黒いビニール袋にキャンディやコウモリ、ジャックオーランタンなどの飾りを貼り付け、ビニール袋の首の部分に穴をあけ、それを着てお菓子をもらいにいきました。



おやつ時間にプレイルームに向かうと木製のツリーにたくさんお菓子が。プレイルームに入った瞬間、子どもたちはツリーに駆け寄り、興味津々に眺めていました。

まずはツリーの前で記念写真。お菓子を触ってみたり、ツリーを見上げてみたり。とてもかわいい写真が撮れました。それぞれ、自分が欲しいと思ったお菓子を取り、プレイルームでお菓子パーティー。いつもとは違うおやつタイムにわくわくしながら過ごしたハロウィンでした。



ミルクから牛乳への移行について



管理栄養士 松浦

牛乳の飲み始めは1歳を過ぎてから、温めた牛乳を50ml程度から様子を見るようにします。牛乳は栄養価が高い食品であり、消化に時間がかかるためです。また、一日に多量に飲むことの栄養的意義はありません。水分補給には水や麦茶などを中心にし、一日の目安量は完了食児で100ml程度、幼児食になってからも200~300ml程度としたいものです。1歳を過ぎて、食事形態が完了食に移行し、おおかた食事から栄養を取れるようになったら、牛乳への移行を進めていきましょう。カルシウムを含む食品は牛乳のほかに、チーズやヨーグルトはもちろん、小松菜などの葉物や小魚などにも多く含まれています。これらを食事に取り入れる事もおすすめです。

編集後記

今年は「みんなで」色んな行事ができたらいいなと思います。

笑顔あふれる2021年にしましょう！！